

# 日立市議会 民主クラブ市政だより

編集発行人  
日立市議会民主クラブ  
日立市助川町1-1-1  
電話 0294-22-3111  
FAX 0294-24-5303  
ご意見ご要望をお待ちしております。  
minshuclub\_h@net1.jway.ne.jp

## 令和6年度 日立市政に対する要望書を市長へ提出 ～ 市民目線での提言を通じて安心して暮らせるまちづくりをめざす ～

令和6年度の予算編成にあたり、民主クラブならびに日立市勤労者協議会、連合県北日立地区協議会との3者連名で、129項目にわたる市政に対する要望書を提出し、回答を得ました。【要望:令和5年11月 回答:令和6年2月】

### ■令和6年度会派要望の主な内容

**要望** ひたち若者がやき会議のさらなる発展と市民参加に向け、市内事業者や各種団体、学生など若者との交流機会を創出するとともに、若者が集う拠点整備を進めること。

**要望** 若者や女性の就業ニーズの高い事務系オフィスの企業、商業施設や情報処理・提供サービスの事業等、新たな雇用の受皿となる企業の誘致を積極的に推進すること。

### ■会派市政要望が実現した(写真・図) 主な内容

**要望①** 茨城港日立港区から日立南太田 IC 周辺の後背地については、交通の利便性を活かした産業集積が期待できることから、土地利用転換を早急に進めるとともに、物流拠点施設や新たな産業の誘致を推進すること。

**要望②** 奥日立きららの里にアウトドアの一大拠点としての施設拡大や新規施設の整備など、新たな集客につながる施設の魅力向上を進めること。

**要望③** 交通渋滞の緩和に向けて新たな市道整備や右折信号の導入など、渋滞緩和に向けた対応・整備をすること。



▲ 要望① 新たな産業団地整備予定地(神田町)



▲ 要望② キャンプサイト(案)のイメージ図



▲ 要望③ 結川町地内道路の整備(完成)

## 令和5年度 民主クラブ活動報告 ～ 連携強化と調査研究を通じて課題解決に取り組む ～

### ■浅野議員を支援する自治体議員連絡会

本連絡会は、北茨城市・高萩市・日立市・東海村の各自治体における課題の共有および国や県との連携強化を目的として定期的に開催しています。令和5年度は、外部講師による「県北医療環境の現状について」の講演会を開催し、現状および今後の対応について課題共有を図りました。



▲「県北医療環境の現状について」講演会の様子

### ■会派行政視察



▲先進都市への会派行政視察

民主クラブでは、本市が抱える政策課題について、先進都市の事例を研究し、まちづくりに反映するため、現場見学や事例に対する意見交換などを行う会派行政視察に取り組んでいます。

令和5年度は、行政における作業効率向上や経費削減につなげるための「AI」を活用した先進的事業についての意見交換、防災に関する知識や災害発生時の行動などを学ぶ防災学習施設などを視察しました。行政視察にて研究した事例については、定例会における一般質問や議案審査の提言の参考にしています。



▲左から助川議員、豊田議員、粕谷議員、白石副議長、吉田議員、堀江議員、高橋議員

# 災害からの本格復旧に向けて災害復旧基本計画を策定

～ 豪雨災害の検証と課題を整理し、真に災害に強いまちづくりに取り組む ～

近年、全国的に自然災害が激甚化・頻発化している状況にあり、各地域において甚大な被害が発生しています。

本市においては、昨年9月8日に台風13号に伴う線状降水帯が発生し、市役所観測所において観測史上最大値を更新する1時間最大降水量97ミリ、1日総降水量268ミリという記録的な大雨により、人的被害をはじめ、市内各地域の河川の溢水や道路の冠水、公共施設や住宅への床上・床下浸水などの物的被害が発生しました。

災害発生からこれまで、本市としては、市民・地域・企業をはじめ、国・県などの支援のもと、災害対応や応急復旧に努めてきました。

今後は、今回の豪雨被害の経験を教訓としつつ、真に災害に強いまちづくりに向け、専門家や市民等で構成された市民懇話会にて出された意見要望を反映するとともに、検証内容や復旧の基本方針、復旧対策や見通しを網羅した「災害復旧基本計画」を本年3月に策定し、本格的な復旧に取り組んでいきます。



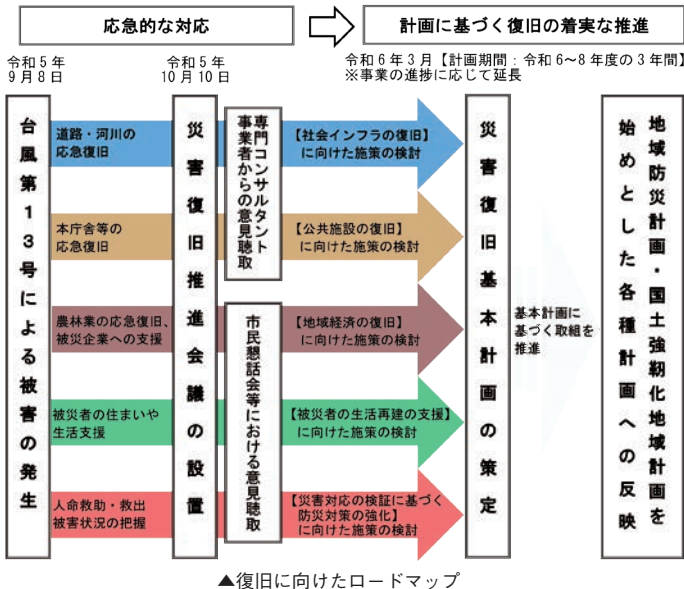
▲宮田川の河岸浸食



▲清掃センター周辺土砂崩れ



▲県道日立山方線の道路冠水



▲復旧に向けたロードマップ

# 次世代未来都市の実現に向けて包括連携協定を締結

～ 次世代につなぐ持続可能なまちづくりをめざして ～

総務産業委員会



次世代未来都市のビジョン

本市と(株)日立製作所は、デジタル技術を活用した次世代未来都市(スマートシティ)の実現に向け、昨年12月「共創プロジェクト」に関する包括連携協定を締結しました。

この協定は、すべての市民が豊かに生活できる「サステナブルなまち」をめざすとともに、地域の活性化および安全・安心な暮らしをともに実現していくことを目的としています。

今後は、同社が保有する先進技術や知見を活かし、創業の地である本市と連携しながら、

- ①グリーン産業都市：「産学金官連携による地域脱炭素化の実現」
  - ◆ 再生可能エネルギーの融通
  - ◆ 中小企業の脱炭素経営支援
  - ◆ スマート産業団地・住宅団地の整備 など
- ②デジタル医療・介護：「住めば健康になるまち 日立市」
  - ◆ オンライン診療等の推進
  - ◆ 健康データの集約・活用 など
- ③公共交通のスマート化：「誰もが移動しやすいまち」
  - ◆ 多様な公共交通の経路検索アプリの導入
  - ◆ 高齢者や通勤者向け次世代モビリティの導入 など

- ①産学金官連携による地域脱炭素社会の実現に向けた「グリーン産業都市」の構築
  - ②健康・医療・介護領域のデジタル化による「デジタル医療・介護」の推進
  - ③デジタル技術を活用した誰もが移動しやすい公共交通の実現による「公共交通のスマート化」
- の3つを軸に本プロジェクトを推進するため、市役所内に「共創プロジェクト推進担当」(課相当)を新設し、地域の課題解決を図りながら次世代につなぐ持続可能なまちづくりをめざしていきます。

# フルマラソン大会「ひたちシーサイドマラソン」を開催

～「海」を存分に満喫できる秋冬最大のスポーツイベント～

教育福祉委員会

本市では、初めてのフルマラソン大会として、本年11月17日(第2回以降は、毎年11月第3日曜日に開催)に参加者を約1万人とする「ひたちシーサイドマラソン」を開催することになりました。

コースは、市民運動公園をスタートとゴール地点とし、普段は歩行者が通行できない国道6号日立バイパスやひたちBRTのバス専用道路のほか、「ひたちらしさ」の一つである「海」を存分に満喫できるなど、本市の魅力がランナーに伝わるようなコースとしました。また、多くのランナーの参加を促すため、日本陸上競技連盟の公認コースを正式取得しました。

民主クラブとしては、本市における秋冬最大のスポーツイベントとなるフルマラソン大会の開催を契機に、交流人口の拡大や地域の活性化を図りながら、まちのにぎわい創出に取り組んでいきます。



▲国道6号日立バイパスを走るランナー(さくらロードレースの様子)



▲「ひたちシーサイドマラソン」コース略図

# 【県内初】コミュニティ活動へのポイントアプリ導入

～「お金で買えないうれしい体験」でつながりを増やす～

環境建設委員会

本市では、10年先、20年先も持続可能なコミュニティをめざし、令和4年1月に策定した「日立市コミュニティ活動推進行動計画」の重点事項の一つとして、コミュニティ活動への参加のきっかけをつくるため、スマートフォンのポイントアプリ「まちのコイン」を使った電子地域通貨の導入に向けた検討を進めてきました。

ポイントアプリとは、例えば、地域の防災訓練やごみ拾いへの参加、イベントのお手伝いをするなど、コミュニティ活動等に参加するとポイントが貯まり、貯まったポイントを使って、非売品のひたちPRグッズや市場に出回らない規格外野菜がもらえたり、地域店舗の新メニューの試食ができたりするなど、「お金で買えないうれしい体験」を通じて、人やまちとのつながりを増やしていく仕組みです。

このように、ポイントアプリの導入は、コミュニティ活動への参加者を増やすきっかけとなり、活動や地域経済の活性化、関係人口づくり、また、SDGsの普及などにもつながる効果が期待できることから、導入に向けた準備を進め、本年4月中旬から運用を開始する予定となっています。

## ポイントアプリの運用イメージ



▲「まちのコイン」イメージ動画

# 慢性的な渋滞緩和に向け幹線道路を中心とした整備を促進

～ 産業や観光の軸となる交通ネットワークを強化 ～ 幹線道路整備促進特別委員会

本市は、主要な幹線道路として市内を縦貫する国道6号と国道245号を軸とした交通ネットワークを有していますが、慢性的な交通渋滞が課題となっており、交通渋滞の緩和に向けて、これまでも国や県に対し要望活動を進めています。

民主クラブとしては、道路利用者の利便性向上を図るとともに、産業や観光の軸となる交通ネットワークの強化を図るため、引き続き交通渋滞の緩和に向けた提言を行っていきます。

## 会瀬連絡道路 (市)



- ・全体事業費：18億円
- ・延長0.6km(会瀬町～幸町)
- ・R5年度事業費：530万円
- 改築工事、JR工事の委託契約

## 鮎川・城南道路 (市)

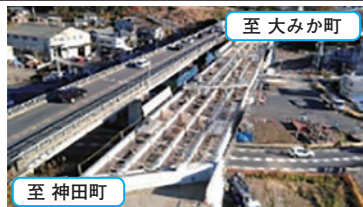
- ・全体事業費：78億円
- ・延長2.7km  
(産業支援センター付近～日立工業高校付近)
- ・R5年度事業費：4.19億円
- 建物等補償・交通量調査等

## 大沼・河原子道路 (市)



- ・全体事業費：45億円
- ・延長1.6km(東大沼町～河原子町)
- ・R5年度事業費：0.2億円
- 概略設計、説明会開催

## 国道6号大和田拡幅 (国)



- ・全体事業費：121億円
- ・延長3.3km(神田町～大みか町)  
幅員25.25m(4車線化)
- ・H24部分供用暫定2車線(0.1km)
- ・R5年度事業費：13.75億円
- 調査設計、用地買収、改良工
- ・令和4年度末進捗率：約55%

## 国道6号日立バイパスⅡ期 (国)



- ・全体事業費：240億円
- ・延長3.0km(国分町～旭町)  
暫定2車線
- ・R5年度事業費：5.08億円
- 調査設計、用地買収、環境整備
- ・R4年度末進捗率：約16%

## 国道245号日立港北区拡幅 (県)



- ・全体事業費：50億円
- ・延長1.88km(久慈町～水木町)  
幅員25.0m(4車線化)
- ・R5年度事業費：4.46億円
- 道路改良工事、用地補償
- ・R4年度末進捗率：約63%

## 国道245号久慈大橋架け替え (県)



- ・全体事業費：100億円
- ・延長1.0km  
(東海村豊岡～日立市留町)
- ・R5年度事業費：0.5億円
- 調査設計、測量、道路改良工事
- ・R4年度末進捗率：約4%



### 凡例

- 事業中国道
- 事業県道
- 供用
- 事業化要望
- JR常磐線

▲幹線道路ならびに市道の整備状況